



風船かずら ~ 花言葉「一緒に飛びたい！」~

事業所訪問①

会員の皆様の農業経営体・事業所を訪問させていただいています。

7月14日、あさひファーム、ハッピーファームMKTさんを訪問させていただきました。お忙しい中、ご対応いただきありがとうございます。

あさひファーム

代表理事 仲井道博さんにお世話になりました。

あさひファームは桑名市で20反の路地畑でネギ専門に一日200kg~300kg、50コンテナを出荷されているA型事業所です。働いておられる方は障害者17名、指導員5名。伺った時間は午後1時過ぎ頃でしたが、ちょうどネギの出荷準備の作業中でした。近くのB型事業所デリカ工房くわのみと共同作業されているとのこと、くわのみと畑も案内していただきました。

仲井さんの「障害」の「障」にこだわられるお話も伺いました。元々は碍という字を使っていたし、大きな岩を前に人が思案し悩んでいる様を示す。つまり自分の意思が通じない困った状態。意思が通らない、妨げられているという同じ意味の障と碍を重ねた障碍は人が困難に直面していることを示す言葉であり、この「障碍」こそが「チャレンジド」にふさわしいと話されました。

事業所は、大桑国道に沿った道沿いにあります。協議会の「チャレンジドファーム」ののぼりが立てられていることを嬉しく思い、県内に多くののぼりが広がることを願いながら貴重な時間を過ごすことができました。



はッピーふぁーむMKT

桑名からの帰り、伊賀市「特定非営利活動法人ハッピーファームMKT」に寄らせていただきました。16時を過ぎていたので、連絡させていただいたサービス管理責任者の岡村美樹さんは利用者の方の送りで一時間程かかるということで、理事長の松井茂樹さんにお話を伺いました。伊賀つばさ学園の実習生も受け入れていただいていますので、協議会で実習生用に作ったTシャツも持参しました。利用者の方々の様子を拝見することはできませんでしたが、現在、新たに事業所の立ち上げを計画中とのこと、今後の取り組みが楽しみです。

事務所に掲げられているたくさんの写真の中に、「かかし」で農作業の様子を表現したものが何枚もあり、本物そっくりでビックリ。土砂降りの中の帰路となりましたが、楽しみながら利用者の方々や地域の人々といろいろな取り組みをされていることを実感させていただきました。

(事務局長 森山)



「かかし」です

三重県障がい者就農促進協議会
〒514-0003
三重県津市桜橋2丁目142
三重県教育文化会館1F
TEL059-253-4187 fax059-253-3359
E-mail mieshuno@dune.ocn.ne.jp
HP <http://mieshuno.net/>